

ナガエツルノゲイトウ現地視察の様子（2025年8月27日）

東播磨地域でナガエツルノゲイトウが確認されているのは、主に①加古川水系（西川、権現川等）、②喜瀬川水系、③瀬戸川水系である。兵庫県特定外来生物対策本部東播磨地域部会設置（2025.8.19）を受けて、東播磨県民局幹部がナガエツルノゲイトウの現地視察を行う。

加古川水系西川（兵庫県企業庁加古川工業用水道管理所付近：加古川市平荘町養老）の状況。特に抜き取り等は行っておらず、広範囲に繁茂している。



加古川水系西川・権現川合流点付近（加古川市平荘町西山）の状況。ナガエツルノゲイトウとそれによく似た水草が混然一体となって繁茂している。



喜瀬川水系新川池（加古川市平岡町土山）の状況。昨年度抜き取りを行っているが、再びマット状に繁茂している。



喜瀬川本川（兵庫県立考古博物館付近：播磨町野添）の状況。この場所では近年、播磨町民有志「ナガエバスターズ」による抜き取りが行われている。2025年3月にも抜き取りが行われたが、再びマット状に繁茂している。

